

エデュケーション・レビュー・レポート
アルバニー・ジュニア・ハイ・スクール

2010 年 2 月

1..... 学校紹介

2..... エデュケーション・レビュー・オフィス（ERO）による評価

3..... レビューの重点項目

4..... 全国共通の課題

5..... コンプライアンスに関する理事会による保証

6..... 推奨策

7..... 今後の活動予定

コミュニティ用ページ

注記

ERO による学校および幼児教育センターに関する各レポートは公知のものであり、複製または電子上の送付は自由に行えます。ただし、エデュケーション・レビュー・オフィスが信憑性を保証できるのは、各 ERO オフィスまたはウェリントンの ERO コーポレートオフィスで直接入手したハードコピーとしての原本のみです。ERO オフィスの所在地については、電話帳または ERO ウェブサイト (<http://www.ero.govt.nz>) をご参照ください。

本レポートはレビュー担当長が承認した標準手順に基づき、作成されています。

1. 学校紹介

所在地	ノース・ショア・シティ、アルバニー
教育省登録番号	6948
学校の種類	セカンダリー（イヤー7～15）
デシルレーティング [1]	10
指導スタッフ： 正規登録相当人数 その他 教員数	64.4 3 68
生徒数	1165
留学生数	43
男女比	女子 52%、男子 48%
人種比	ニュージーランド・ヨーロッパ人（パケハ） 58%、 マオリ 5%、中国人 4%、韓国人 4%、東南アジア系 3%、インド人 2%、サモア人 1%、その他のアジア 系 8%、その他のヨーロッパ人 8%、その他の人種 7%
特記事項	ウィルソン・スクール・サテライト・ユニット
レビューチームの訪問時期	2009 年 12 月
レポート発行日	2010 年 2 月 3 日
前回の ERO レポート	2007 年 2 月エデュケーション・レビュー

2. エデュケーション・レビュー・オフィス（ERO）による評価

アルバニー・ジュニア・ハイ・スクールは、ノース・ショア・シティ、アルバニーの郊外に位置しており、イヤー7～10の生徒を対象としている。本校の通学圏は広く、43校のコントリビューティングスクール（イヤー1～6のプライマリースクール）からの生徒が通っている。2007年のEROレポート時点では、本校は設立から2年で、イヤー9とイヤー10の生徒はまだ含まれていなかった。その後、本校の生徒数は2倍以上に増えている。読み書き能力と計算能力の成績が上昇傾向にあるのは、生徒の成績に加えて、新しいスタッフによる学校理念の習得に注力している成果である。バランスの取れた、定期的な自己診断プロセスによって、生徒の成績は継続的に向上している。

本校は、生徒の成績のレベルが極めて高いことを誇りとしている。多くの生徒の成績は、カリキュラム全体にわたって極めて優秀である。生徒の読解力データによると、すべての学年グループの成績レベルは、国の平均を上回るだけでなく、同等レベルの学校よりもはるかに上である。本校は、生徒の成績に関する読み書き能力と計算能力の年間目標のレベルを徐々に高くしており、学校運営理事会への報告によると、これらの目標はほぼ達成されている。

生徒は自己の成長を喜びとしている。学習の成果と活動結果については、情報を共有し、ほめたたえている。生徒は、自己の学習管理に有効な方法に関して指導を受けている。生徒は意欲的で、戦略的な思考法や情報通信技術（ICT）をカリキュラム全体の学習に有効に活用している。

本校は効果的に管理・統括されている。校長と管理職チームは、現場の意見を尊重したバランスの取れた意志決定を下し、理事会方針を適切に組み入れている。学校理念に沿うことによって、発達過程にある青年期のニーズに合わせたプログラムと指導法をスタッフが作ることが可能になっている。理事会へ提出される包括的なレポートによって、学校の継続的な向上を目指して、理事メンバーが戦略的かつ柔軟に計画を策定している。学校の管理職と理事メンバーに関する完璧な引き継ぎ計画によって、生徒の高成績と継続的な改善が維持されるよう確実を期している。

ERO と本校は、生徒に関して設定された方向性が詳細に記録された証拠（教師、生徒、保護者の認識・見解、国内外のリサーチなど）に基づいていることを確信している。

今後の活動予定

ERO では、学校運営理事会が生徒と国家の利益において学校を運営し、本レポートで略述されている改善策を実現していくことを確信している。ERO は、3 年後に次のレビューを実施する見込みである。

3. レビューの重点項目

生徒の総合成績

ERO のエデュケーション・レビューの重点項目は、生徒の成績である。続いて、生徒の総合的な成績について、学校が把握している内容である。

理事会に年 2 回提出される、すべての学習分野に関するカリキュラムレポートによると、大半の生徒の成績は非常に優良である。本校は慎重に分析されたデータに基づき、生徒の成績に関する高い要求度の年間目標を徐々に設定している。学校の読み書き能力および計算能力に関する目標は、ほぼ達成されている。

生徒の読解力データによると、すべての学年グループの成績レベルは、国の平均を上回るだけでなく、同等レベルの学校よりもはるかに上である。国際試験の上位 4% に入った生徒数についても、予想を上回っている。読解力データはこの 5 年間にわたって上昇傾向にあり、学年が上がるに連れて、生徒の成績が良くなっていくことが示されている。

イヤー 10 の生徒の多くは、イヤー 11 の準備として、「National Certificates of Education (NCEA：全国共通学力試験)」アセスメントに参加することができる。このアセスメントを活用する生徒の多くは、好成績を挙げている。

生徒の活躍は多岐にわたる。学校の多様なスポーツ活動や文化グループについて、一つのみならず、複数に参加している生徒が多い。これらのグループの多くは地元

や全国レベルで研鑽し、ほかの生徒やスタッフ、訪問者に対して定期的に成果を披露している。生徒の活躍はニュースレター、全校集会、学校のホームページで紹介される。

学校独自の優先事項

レビュー前に、アルバニー・ジュニア・ハイ・スクールの理事会は、ERO が提供したガイドラインと資料を使って、レビューに関する優先事項を検討するよう依頼を受けている。さらに ERO では、学校が作成した、レビューの範囲に関連する資料を使用した。

レビューに関する優先事項の詳細は、ERO レビューチームと学校運営理事会との話し合いを受けて決定された。この話し合いでは、学校が保有しているこれまでの情報（生徒の成績や自己審査情報など）に加えて、アルバニー・ジュニア・ハイ・スクールの生徒の成績に関連するレビューの今後の課題についても着目した。

良好な結果が出ている分野

生徒の学習と成績の重視：生徒の学習や生活面でのニーズ、成績の重視は、学校のすべてのプログラムと活動において優先されている。教師は、生徒が効果的に成果を上げられるようサポートしている。

- 参加と成果に対して、教師の期待が高く、生徒自身が自己肯定することによって、困難を受け入れる意志と様々な学習経験にかかわろうとする意欲が生徒に育まれている。
- 学習に関する時間をかけた話し合い、生徒と周囲の大人との間の積極的な交流、柔軟な受け入れ体制を持つ校風によって、生徒がアイデアを試し、必要に応じて支援の追加を求める環境が整っている。
- 教師は、自己の授業方針の有効性について、生徒の意見を取り入れている。生徒はリーダーシップをとる機会と匿名調査を通じて、学校の改善に参加している。

- 生徒は学習と勉強時間を活用するための方法を学ぶ。生徒は期待される成果を得るために、目標を設定し、プロセスを検討し、時間を管理している。生徒の学習意欲は高い。

*学校の管理と指導:*学校の理事メンバーと管理職は、学校を効果的に管理・指導し、生徒の成功を導いている。バランスのとれたプロセスによって、学校の理念と「豊富な学習プログラム」が維持されるよう徹底している。

- 校長と副校長が有能な上級管理職チームのサポートを受けて確固たる指導力を発揮することによって、極めて高い質の授業が本校に実現している。
- 戦略が明確に示されたビジョンには業務引き継ぎに関する計画が含まれており、学校のプログラムと活動の指針になっている。
- 任務と責任を明確に定義し、詳細に記録することによって、管理職と理事メンバーが各自の責任を担い、レビューの推奨策に従うことが可能となっている。
- 理事メンバーと上級管理職との緊密な関係によって、イヤー7～10の生徒のための首尾一貫した教育の提供という学校目標の追求が実現している。

*学習に関する校風:*すべての教師と学校の管理職を対象とした、プロフェッショナルとしての継続的な学習と成長を目指す校風によって、学校の理念と一貫した活動の浸透・維持が促進されている。スタッフによる学習の重視は、以下によって明示されている。

- 新しいスタッフに対して、年間を通じて継続的な助言を導入・提供し、学校の方針の理解と受け入れを徹底する。
- 仮登録段階の教師に対して、助言と指導に関する効果的なプログラムを提供することによって、教師の能力と自信を確立する。
- 業務引き継ぎを促すために、校長が策定した2年間の上級管理職用プログラムへの参加者を中堅マネージャーの中から選抜している。
- 職員会議を定期的に行い、発達過程にある青年期のニーズに関連するリサーチと学校全体の授業法を提示すると共に、各教師の取り組みを検討する。

学校の自己審査：すべてのプログラム、活動、懸念事項に関する、バランスの取れた、計画的で柔軟な定期審査によって、継続的な改善が推進されている。自己審査のプロセスは、当該年齢グループを対象にドルマン博士が特定した7種類のニーズに沿っており、学校理念の浸透を促すと共に、スタッフ、生徒、理事メンバーの意欲と熱意を維持する効果を学校にもたらしている。生徒の成績に関する緻密なモニタリングによって、慎重な計画とすべてを網羅したレポートが実現している。さらに、このモニタリングは、プログラムによって生徒の可能性を引き出せるよう、学校の管理職と教師が生徒に期待される進歩を予測する助けとなっている。

学習の推進：適切に管理された学習環境と学校の積極的な雰囲気は、学校の理念に関する理論の影響を受けている。生徒は以下を育むための様々な学習経験に深く関与している。

- カリキュラムの主要な能力、ICT や思考スキルに関する巧みな導入
- 各授業の目的と教師が成果を引き出すための要件の構築に関する十分な理解
- 自立的かつ協力的な問題解決活動
- 仲間や教師と成功を共有することによる、成果への誇りや達成感

留学生への対応

「留学生の生活保障に関する服務規程」の順守と英語サポートの提供

アルバニー・ジュニア・ハイ・スクールは、1989 年教育法の第 238F 章に基づき策定された「Code of Practice for the Pastoral Care of International Students（留学生の生活保障に関する服務規程）」（以下、本規程）に署名している。この評価では、本規程の順守について、本校がいかに適切に監視しているかを始めとして、留学生に提供される教育の質に重点を置いている。本校には 43 人の留学生がおり、大半は韓国出身である。また、本校には永住者の韓国人生徒が多数いる。

本校は、本規程のすべての面に順守していることを立証している。

ERO の調査によって、留学生に関する本校の自己審査プロセスがバランスの取れたものであり、本校が本規程のすべての面に順守していることが承認されている。

良好な結果が出ている分野

- 留学生は通常クラスでのすべてのプログラムに参加し、クラス外での専門教師との授業によって、英語の読み書き・会話に関する質の高い学習サポートを追加で受けている。
- 留学生の生活、ケア、教育は、通常の報告プロセスの一環として理事会に報告されている。
- 本校は、留学生に関するプロセスと文書化についての自己審査に留意している。
- 留学生担当スタッフは、チームとして緊密に活動し、定期的に打ち合わせをしている。
- カリキュラムと成績に関する書類は学生用に翻訳され、学生が学校で母国語でのサポートが受けられる体制が整っている。
- 韓国人カウンセラーが週1回の頻度で対応しており、留学生事務担当者は韓国国籍である。
- 留学生がレクリエーションに使える部屋が本年から用意されており、昼休みにはこの場所を「キウイ（ニュージーランド人）」の友人と一緒に使うことができる。
- 留学生は学校活動に参加し、「キウイ」の友人ができています。

2010年2月3日

アルバニー・ジュニア・ハイ・スクールの保護者および地域の方々へ

以下は、アルバニー・ジュニア・ハイ・スクールに関するエデュケーション・レビュー・オフィスの最新レポートにおける所見です。

アルバニー・ジュニア・ハイ・スクールは、ノース・ショア・シティ、アルバニーの郊外に位置しており、イヤー7～10の生徒を対象としている。本校の通学圏は広く、43校のコントリビューティングスクール（イヤー1～6のプライマリースクー

ル)からの生徒が通っている。2007年のEROレポート時点では、本校は設立から2年で、イヤー9とイヤー10の生徒はまだ含まれていなかった。その後、本校の生徒数は2倍以上に増えている。読み書き能力と計算能力の成績が上昇傾向にあるのは、生徒の成績に加えて、新しいスタッフによる学校理念の習得に注力している成果である。バランスの取れた、定期的な自己診断プロセスによって、生徒の成績は継続的に向上している。

本校は、生徒の成績のレベルが極めて高いことを誇りとしている。多くの生徒の成績は、カリキュラム全体にわたって極めて優秀である。生徒の読解力データによると、すべての学年グループの成績レベルは、国の平均を上回るだけでなく、同等レベルの学校よりもはるかに上である。本校は、生徒の成績に関する読み書き能力と計算能力の年間目標のレベルを徐々に高くしており、学校運営理事会への報告によると、これらの目標はほぼ達成されている。

生徒は自己の成長を喜びとしている。学習の成果と活動結果については、情報を共有し、ほめたたえている。生徒は、自己の学習管理に有効な方法に関して指導を受けている。生徒は意欲的で、戦略的な思考法や情報通信技術（ICT）をカリキュラム全体の学習に有効に活用している。

本校は効果的に管理・統括されている。校長と管理職チームは、現場の意見を尊重したバランスの取れた意志決定を下し、理事会方針を適切に組み入れている。学校理念に沿うことによって、発達過程にある青年期のニーズに合わせたプログラムと指導法をスタッフが作ることが可能になっている。理事会へ提出される包括的なレポートによって、学校の継続的な向上を目指して、理事メンバーが戦略的かつ柔軟に計画を策定している。学校の管理職と理事メンバーに関する完璧な引き継ぎ計画によって、生徒の高成績と継続的な改善が維持されるよう確実を期している。

EROと本校は、生徒に関して設定された方向性が詳細に記録された証拠（教師、生徒、保護者の認識・見解、国内外のリサーチなど）に基づいていることを確信している。

今後の活動予定

ERO では、学校運営理事会が生徒と国家の利益において学校を運営し、本レポートで略述されている改善策を実現していくことを確信している。ERO は、3 年後に次のレビューを実施する見込みである。

[\[1\]](#) デシル 1 の学校には、社会的・経済的にもっとも恵まれない地域の学生が集まっており、デシル 10 の地域は、社会的・経済的にもっとも恵まれている。